科目ナン	バリン	グ									
	クリ・		リーディング	ブI(全・英)	-E3						
授業科目 <sup>:</sup> <英訳>	科日名   Critical Reading I (All Faculties   担当者所属   非労勤講						非常勤講師 荘ら	中 孝之			
群	キャリ	ア形成科	·目群	分野(分類)	国際コ	ミュニ	ケー	ーション 使用言語 日本語			
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	ŧ	授業用	業形態 演習(対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2025 ·	前期	曜時限」	<b>&lt;</b> 2		配当	学年	2回生	E以上	対象学生	全学向
ることを目指す。また学術的な英文で使用される表現を紹介しながら、ライティング力の向上に努											
める。さらに単語テストを通して、語彙力の増強も図る。											
[到達目標]											
英語のニュースが理解できるようになる。学術的な英語表現を習得できる。語彙を増やすことがで きる。											
<u>こ</u> る。 [授業計画と内容]											
1. テキストの紹介、授業の進行について、注意点											
1. アイストの紹介、役乗の進行につけて、注意点 2. How to Raise a Creative Child											
3. Leaks Show How Wealthy Hide Riches											
4. Comedian Matayoshi's Literary Win											
5. Russia's Culture of Sports Cheating											
6. Out of Africa											
7. Why Are Migrants in the Arctic, on Bikes?											
8. Dissapointed by Europe, Many Iraqis Return Home											
9. China's Woes Deflate Hopes for Economic Rise in Africa											
10. "Drop Dead, Japan!" Mon Fights on											
11. iPS Eye Parts Are Created											
12. A Driverless-Car Puzzle											
13. Recognizing the Artifice in Artificial Intelligence											
14. Abandoned Babies											
15. 試験 16. フィードバック(授業の振り返り、質問受付等)											
		ック(授詞	業の振りょ	図り、質問受	[[[]][[]][[]][][]][][][][][][][][][][]						
[履修要	_										
特になし											
[成績評	価の方法	去・観点]									
成績評価は、期末試験、授業での発言や参加態度、単語テストから判断する。詳細は、初回の授業 にて説明する。											
[教科書]											
Richard Powell 『English through the News Media (2017 Edition)』(朝日出版)ISBN:978-4-255-15604-0											
[参考書等]											
(参考書)											
京都大学英語学術語彙研究グループ 『京大学術語彙データベース基本英単語1110』(研究社)											
<u>ISBN:97</u>	<u>8-4-327</u> -	452 <u>2</u> 1-6						<del></del>			
								クリティ	カルリー	ディングI(全・英	<u>と)-E3(2)</u> へ続く

クリティカルリーディングI(全・英) <b>-E3(2)</b>
[授業外学修(予習・復習)等]
次回の授業個所を事前に読んでおくこと。また毎回単語テストのための準備をしておくこと。
[その他(オフィスアワー等)]
[主要授業科目(学部・学科名)]